項目		説明
試料・情報の研究課題名		甲状腺癌周術期リハビリテーションにおける言語聴覚療法の有効性の検討
利用目的	研究対象者	・2021 年 9 月から 2022 年 8 月までに甲状腺癌術後に嗄声や嚥下障害を主訴にリハビリ
及び		  テーション科を併診した後に言語聴覚士の評価・訓練を受けられた方。
利用方法		  ・2022 年 9 月から 2024 年 9 月まで甲状腺癌周術期パス(神経刺激装置使用)で言語聴
		覚士の評価・訓練を受けられた方。
	研究目的	当院ではこれまで術後に嚥下障害が生じた後にリハビリテーション科で診察、その後に
		   言語聴覚士が介入していましたが、入院は短期間であり十分な介入が行えていませんで
		した。2022 年 9 月より術前情報の把握、術直後の合併症減少を主な目的として周術期パ
		スに言語聴覚士が介入し術前後の音声・コミュニケーション評価、摂食嚥下機能評価・
		訓練を開始しました。甲状腺癌周術期リハビリテーションにおける言語聴覚療法の意義
		を明らかにしていく。
	研究方法	患者属性、診断名、術式、術前日と術後退院前の機能評価を後方視的に観察。術前後の音声評価は最長
		発声持続時間(MPT)、聴覚的印象(GRBAS 尺度)、嚥下機能評価は改訂水飲みテスト、食事観察を実
		施。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削
		り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と
		識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけ
		て厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2025 年 2 月 10 日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
		[ ✓] 総長が研究実施を許可した日
Z.1 = 1 = 1   1   1   1	開始する時期	L 」 西暦 年 月 日頃(研究の進捗によって前後いたします)
利用する試	[ <del></del> -	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、
料・情報の項		[]病理検体(具体的に記載:)、
目(チェック		[]尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []、 []、 []、 [] [] [] [] [_
[X]が入った項 日を利田 L ±		[]毛髪、[]その他(具体的に記載:)
目を利用しま す)	[[✓]情報: 	[√]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[√]年齢、[]生年月日、[√]性別、[]
,		既往歴、[_]併存疾患、[✓]外来日・入院日・退院日、[_]臨床検査値、[✓]放射線診断や
		超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[ ✓] 臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、
- Nation 14 45		[] ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載:)
試料・情報	当センター研究	
	責任者 # 日 四 衆 郷 郡 よ ゝ と	リハビリテーション技術科 須藤奈津子 
者の範囲	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
  試料・情報の利用停止および		神奈川県立がんセンター リハビリテーション技術科
情報公開に関する窓口		須藤奈津子 連絡先:045 (520) 2222 (代)
		利用停止のお申し出は 2025 年 2 月 28 日までにお願いいたします
		ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合
		には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります